



L01

令和

年分贈与税の申告書 第二表

(相続時精算課税の計算明細書)

修正申告の場合、右に「2」と記入します。

G01

受贈者の氏名

F04

G02

次の特例の適用を受ける場合には、左に「1」と記入してください。
私は、租税特別措置法第70条の3第1項の規定による**相続時精算課税選択の特例**の適用を受けます。

(単位：円)

特定贈与者

左記の特定贈与者から取得した財産の明細

住所				
E01				
フリガナ				
E02				
氏名				
E03				
申告者との続柄				
G03		<div>1:父 2:母 3:祖父</div>	<div>4:祖母 5:上記以外</div>	5の場合記入
	生年月日	元号	年	月 日
	N01			

種類・細目 区分コード	種類	細目	利用区分・銘柄等	財産を取得した年月日
				元号 年 月 日
G04	E05	E06	E07	N02
所在場所等				財産の価額 (円)
E08				G05
	数量	単価 (円)	(固)評価額 (円)	倍数 (倍)
	C01	C02	G06	C03
種類・細目 区分コード	種類	細目	利用区分・銘柄等	財産を取得した年月日
				元号 年 月 日
G07	E09	E10	E11	N03
所在場所等				財産の価額 (円)
E12				G08
	数量	単価 (円)	(固)評価額 (円)	倍数 (倍)
	C04	C05	G09	C06
種類・細目 区分コード	種類	細目	利用区分・銘柄等	財産を取得した年月日
				元号 年 月 日
G10	E13	E14	E15	N04
所在場所等				財産の価額 (円)
E16				G11
	数量	単価 (円)	(固)評価額 (円)	倍数 (倍)
	C07	C08	G12	C09

財産の価額の合計額 (課税価格)		㉓	G13	
特別控除額の計算	過去の年分の申告において控除した特別控除額の合計額 (最高2,500万円)	㉔	G14	
	特別控除額の残額 (2,500万円－㉔)	㉕	G15	
	特別控除額 (㉓の金額と㉕の金額のいずれか低い金額)	㉖	G16	
	翌年以降に繰り越される特別控除額 (2,500万円－㉔－㉖)	㉗	G17	
税額の計算	㉖の控除後の課税価格 (㉓－㉖) 【1,000円未満切捨て】	㉘	G18	
	㉘に対する税額 (㉘×20%)	㉙	G19	
	外国税額の控除額 (外国にある財産の贈与を受けた場合で、外国の贈与税を課せられたときに記入します。)	㉚	G20	
	差引税額 (㉙－㉚)	㉛	G21	

上記の特定贈与者からの贈与により取得した財産に係る過去の相続時精算課税分の贈与税の申告状況	受贈者の住所及び氏名は、「相続時精算課税選択届出書」に記載した住所・氏名と異なる場合にのみ記入します。									
	申告した税務署名		控除を受けた年分		受贈者の住所			受贈者の氏名		
			元号	年分						
	E17		L02		E18		E19			
	E20		L03		E21		E22			
	E23		L04		E24		E25			
E26		L05		E27		E28				

◎ 上記に記載された特定贈与者からの贈与について初めて相続時精算課税の適用を受ける場合には、申告書第一表及び第二表と一緒に「相続時精算課税選択届出書」を必ず提出してください。
なお、同じ特定贈与者から翌年以降財産の贈与を受けた場合には、「相続時精算課税選択届出書」を改めて提出する必要はありません。